



山本俊明議員



## 人口減少社会における笠岡市の対応・ 目指すべき方向と将来の姿は

**議員** 笠岡市が汗を流して計画を立て実施しても元気にならないその理由と原因、それに対する考えをたずねる。

**市長** 取り組むべき事項が増え元気にならない印象を与えている。市民の声に耳を傾け着実に実施する事で少しずつ成長していると考えている。

**議員** 笠岡市の人口将来展望「人口ビジョン」を現段階でどのように考えているのか。

**市長** 現段階では検討中。人口減少のスピードを緩める。若い人たちが希望する子供の数が持てる施策を展開する考えである。

**議員** 笠岡市が将来消滅しない今

後の行動についてお示し願いたい。

**市長** 教育、子育て支援、若者や女性が住みたいと思える施策を展開していきたいと考えている。

**議員** 都市計画マスタープランと学校規模適正化の整合性をたずねる。

**市長** 子供の年間出生数は300人で小規模化は進む。自己形成に必要な学校規模の確保は必要であり整合性を欠く事にはならない。

**議員** 笠岡市がコンパクトシティの道を進む必要があるが市長の考えはどうか。

**市長** 将来笠岡市が歩まざるを得ない方向であると考えている。



樋之律倫子議員

## 小規模・零細業者 に光を

**議員** ①平成21年から提案してきた産業振興ビジョンが昨年3月制定された。実績をたずねる。②市内の小規模事業所の実態をたずねる。③国や自治体の責務を明らかにした小規模企業振興基本法が施行された。それに基づく中小企業の振興条例を制定し、小規模企業の振興を図ってはどうか。

**市長** 企業コーディネーターを配置し企業訪問、経営相談等を行った。小口零細企業融資制度の追加と保証料の補給、日本政策金融公庫の経営改善資金に対する利子補給制度新設等も行なった。②経営者の高齢化の加速、後継者不足による廃業、急激な円安の影響による原材料高騰等で景気の回復は実感されていない。③産業振興ビジョンの重要施策の具体的施策を年次的に

実施することが、小規模企業の振興につながると考える。



土曜夜市で  
にぎわう商店街

実施することが、小規模企業の振興につながると考える。

**議員** 企業訪問は、腹を割った相談ができるようにすべき。市内には高い技術を持つ企業があり、ケーブルテレビ等でPRすべきだが、建設産業部長 効果的な方法を模索し、PRしていきたい。

## 合意形成における話し合いが大切

**議員** ①連携協約締結において、市民への説明・議論不足と受け止められることがあるがどう捉えているか。②今後の事業展開と市民生活充実へどう貢献するかたずねる。

**建設産業部長** ①今後も市民のご意見を反映させていく。②市民生活上安定に資する事業展開に取り組む。また、圏域住民の利便性向上が図られるよう期待する。